



須田っ子

第24号

学校教育目標「進んで心や体をすこやかにする子」 SA・SU・CA・DA

1 / 19 (水) 避難訓練 (積雪時の火災想定)



避難開始



全体指導



振り返り

これまでの避難訓練は、ここまでの流れで行われてきました。子供たちも振り返りを書いたところで訓練は終了したと思ったようです。

今回の訓練では、全体指導をした後で、天候が回復したこともあり、指導されたことをしっかりと実行できるか、外に出たときの並び方ができるかについて見るために、再度訓練放送をしました。びっくりした子もいたと思いますが、2回目も冷静に避難していました。



避難訓練の話

校長

火事で恐ろしいのは、火炎より「煙」です。火災で亡くなる原因をみても、火傷によるものよりも、煙が原因で命を落とすことが少なくありません。

なぜでしょうか。それは、煙には、一酸化炭素など有毒なガスが多く含まれているからです。一酸化炭素は、無色・無臭・可燃性の気体です。そして、吸ってしまうと、頭痛などが起こり、意識を失ってしまいます。だから、煙から自分を守ることが大切です。

煙は、上に昇る速さが1秒で約3～5m(かけ足の速さ)、横へ広がる速さが1秒で約0.3～0.8m(歩く早さ)なので、火災現場から横に逃げた方が助かる可能性が高くなります。また、高い位置からたまっていくので、姿勢を低くして避難すると比較的安全です。

皆さんは、低い姿勢でどのくらい動くことができますか。長い廊下を低い姿勢で歩くのは大変です。だから、体育の時間など、いろいろな動きができるようになることは大切なのです。また、集合と言われたら、口を閉じて素早く集合することなども、命を守る練習でもあります。一秒が生死の分かれ目となる場合もあります。周りの状況から、一番危険なく避難できるのはどのルートか考え、判断したり、素早く避難するために動き出したりすることが大切です。普段から、意識して、考え、判断する力や実行する力を付けていきましょう。

2月のカレンダー ○誰にでも明るく気持ちの良い挨拶をしよう。○感謝の気持ちを相手に伝えよう。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 1日(火) 委員会(4, 5, 6年生) | 15日(火) 委員会(4, 5, 6年生) |
| 2日(水) 学習参観(5限1～3年生、
6限4～6年生) | 16日(水) 6年生ありがとう週間(～22日) |
| 4日(金) 須童集会 安全点検日 | 18日(金) 新一年生学用品販売・入学説明会 |
| 7日(月) 預り金振替日 | 22日(火) ICT支援員 |
| 8日(火) NRT学力検査(国) ICT支援員 | 23日(水) 天皇誕生日 |
| 9日(水) NRT学力検査(算) | 24日(木) 6年生を送る会
なわ跳び大会(大なわ) |
| 10日(木) 生活習慣実態調査(～15日) | 25日(金) ALT 全校集会 |
| 11日(金) 建国記念の日 | |
| 14(月) ひまわり会あいさつ運動 | |

※新潟県のまん延防止等重点措置の適用を受けて、学習参観やなわ跳び大会の日程や内容を変更しました。



学校評価(進捗状況)について2

グラウンドデザイン(学校教育目標・重点目標、達成のための「具体的な取組」などを図に示したもの)の進捗状況をお知らせします。

健やかな体づくり

1 運動能力：体育や運動が好きと答える子供を多くし、運動能力を高め、進んで運動する習慣を身に付けさせる。

(1) 評価方法：体力テストの結果から昨年度の結果と比べて体力向上が見られる(昨年度より記録が1.1倍以上)子供の割合

A：80%以上 B：60%以上 C：上記の条件に満たない

(2) 現在の評価：C(体力テストの結果から、各学年で課題の見られる種目の運動に取り組み、再測定を行います。)

県の平均との比較で課題のある種目

1年生：上体起こし 2年生：握力、反復横跳び、立ち幅跳び、ボール投げ

3年生：握力、シャトルラン、50m走 4年生：女子のシャトルラン

5年生：女子の握力とシャトルラン 6年生：握力、反復横跳び、女子の長座体前屈、50m走

(3) 評価方法：「体育が好き」、「運動が好き」、「体育でできるようになったことがある」と答える子供の割合

A：80%以上 B：60%以上 C：上記の条件に満たない

(4) 現在の評価：A(「体育が好き」94.8%、「運動が好き」92.2%、「体育でできるようになったことがある」98.8%)

2 時間編集力：見通しをもって時間を使い、規則正しい生活を送る。

(1) 評価方法：元気アップ週間及びアンケートで、メディア時間と睡眠時刻の両方を守れた児童の割合

A：メディア時間と就寝時刻の両方を守れた児童の割合：80%以上(2学期以降は改善された児童の割合を入れて、90%)

B：70%以上(2学期以降は改善された児童の割合を入れて80%)

C：上記の条件に満たない

(2) 現在の評価：A(「メディア時間と就寝時刻の両方を達成できた」92.3%)

3 取組内容

(1) 準備運動(なわ跳びや下半身の柔軟を実施)



(2) がんばりタイムの様子



(3) 体育授業の充実「握る、投げる、跳ぶ、曲げる」を重点化した授業



(4) 生活習慣と食習慣に関連した授業（指導）



1年生夜更かしすると

2年生早寝早起き

3年生歯みがき教室



4年生メディア時間
(5) 職員研修



5年生五大栄養素



6年生バランスのよい献立



救急法講習会

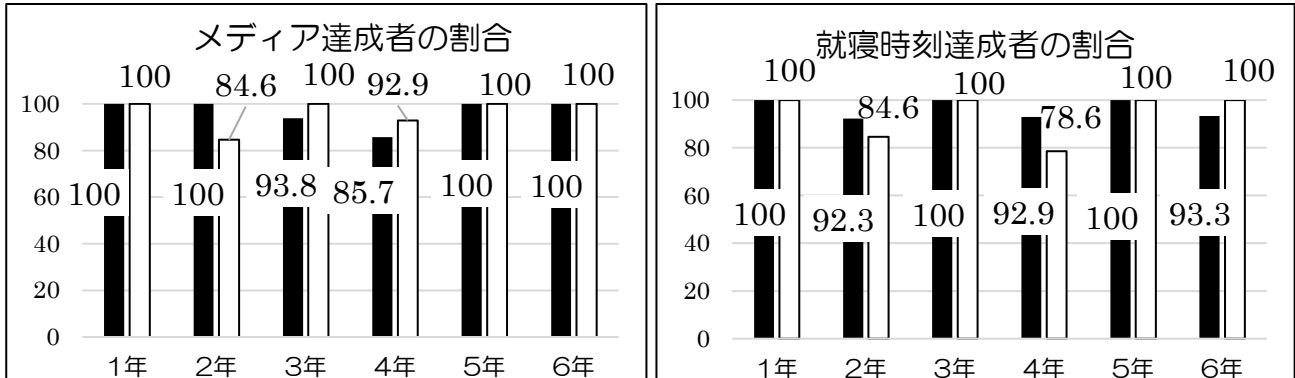


食物アレルギー研修

学校保健委員会について

学校保健委員会は子供たちの健康づくり・体力向上・食育等について、学校・家庭・地域で話し合いを行うものですが、今年度も感染予防の観点から、紙面での報告とさせていただきます。

1 元気アップ週間の結果（グラフの黒色は6月実施、白色は9月実施）



全体の様子

- ・就寝時刻やメディア時間の達成度は1、2回目と変化がない、または減少する学年があった。
- ・昨年度から元気アップ週間の期間は土日を含めた1週間実施した。金曜や土、日曜日になると就寝時刻やメディア時間が達成できない児童も見られた。元気アップ週間が終了すると、メディア時間が目標の2時間以上視聴している児童もいる。

今年度は1～3学期に中学校と合同で行った強調週間（元気アップ週間）や、担任と養護教諭が一緒に行う保健指導を各学年毎学期実施しました。今後も家庭と連携して、生活習慣向上を目指していきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

2 子供の食生活と現状と食育について

- ・給食の残量は平均して2%以下、苦手なものもしっかりと食べようとする姿勢が多く見られる。
- ・黙食の実施により、味わって食べようとする姿や、食事時の姿勢の改善が見られる一方で、会食を通しての食事マナー等が身につけにくい現状にある。

食事は体だけでなく、食べる楽しさや食事マナーなど、心の成長や生活の自立の上でも欠かせません。友達と会食することが難しい今、ぜひ、ご家庭で食卓を囲む機会を増やしていただければと思います。

学校医の監物小児科医院の先生より、生活習慣についてご指導をいただきました。

メディア時間達成度に関して

1, 5, 6年生で達成率100%であることは大変評価できる結果である。他の学年も84.6-93.8%と達成率が高い。4年生では6, 9月共に100%達成出来ていないが、もし同じ児童が未達成であれば、家庭環境を考慮した上で個別の指導が有効かもしれない。元気アップ週間だけではなく、習慣化することが大切である。

就寝時間達成度に関して

1, 3, 5年生は達成率100%であり、他の学年も78.6-93.3%と全体的に高い達成率と思われる。2, 4年生は他の学年と比較すると達成率が低い傾向があり、これはメディア時間達成率にも当てはまる。全体の達成率を上げるにはやはり個別指導が効果的であるかもしれない。質の良い睡眠や早寝・早起きと健康との関連性は医学的に証明されており、これも習慣化することが重要である。

コロナ禍での影響

コロナ禍では感染予防の観点からオンライン学習の頻度が増えることや、外出時間が減ることによるメディア使用時間の増加が予想される。家族で一緒に過ごす時間も増えるため、良質なメディアの選択や親子での過ごし方が児童の生活習慣に与える影響は少なくないと思われる。

ご意見、ご感想等ございましたら、担任までお知らせください。